

支部だより

第十七回関西支部燦々総会

関西支部支部長

永幡 昶恵

(昭和三十六年卒)

総会報告をいたす前に、関西支部の歴史を少しひもときたいと思えます。関西支部の結成は、本部の藤井賢治会長（S二十七年卒）の要請で、本部の繁原宗一郎副会長（S二十八年卒）が、東寛氏（S二十八年卒）に協力を求めたことがきっかけです。東先輩は、誠実真摯で、遠山一美さん（S二十八年卒）等有志と共に、男子一回生の相尾重勝氏（S二十七年卒）に相談、相尾氏を初代会長に就任願い、発足準備会を立ち上げました。数回の会合を重ね、昭和五十二年十月十六日に支部結成総会が開催され、大谷英彦氏（S二十八年卒）を第二代会長（支部長）に選出、関西支部としての組織的活動が始まります。以後、東寛第三代会長、

船越治生第四代会長（S三十三年卒）、中野芳一第五代会長（S三十四年卒）と続き、私で第六代ということとなります。中でも、東先輩の、誠実真摯な人柄が多くの人たちを結集させ、今日の関西支部の基盤ができました。歴代会長は、それぞれの個性に基づいて、多くの功績を残されましたが、非力ながら私は私の個性で、故郷「田川」及び母校と関西会員相互の絆をつなぐ、架け橋として努力を重ねたいと思っています。ご指導ご協力よろしく願います。

さて、第十七回関西支部総会は、中野顧問、大江幹事長のお力添えにより、二〇〇七年六月十一日（日）ホテル京阪ユニバーサルシティで開催しました。本部から安蘇龍生会長、吉永俊嗣校長、前田晃稔恩師、北九州支部から植田士郎副支部長、朋友同窓会として関西岳陽会（田川高校）から奥田利一会長、橋本博事務局長を来賓として迎え、賑々しく開催されました。まず、開会に先立ち母校八十周年記念DVDを觀賞し、気分の高まったところで総会へ。会務・決算と単調になりがちな総会も、安

蘇会長の、炭坑節を広めた赤坂小梅さんの映画化の話、炭坑文化の発掘とシンボルの二本煙突の世界遺産登録申請の話等々、名調子のご挨拶（まるで授業を受けているような気分でした）で、一気に盛り上がりました。また、校長先生の、関西支部の指導者派遣により、野球部が筑豊五地区大会準優勝等の結果が表れつつある話にも、皆氣をよくしました。おかげで議事は異議なしの拍手であっさり終了。まさに和やかな燦々総会でした。

懇親会では、大阪ならではの趣向を凝らして、テレビでお馴染みのジョニー広瀬さんの目の前でマジック、いくら見ても分からず目を白黒。また、演歌歌手の松浦ゆみさんの炭坑節、会場輪になって踊りました。安蘇会長は、マジックにも演歌にもユニークな講評をし、一人もてのご様子でした。飲むのも食べるのも喋るのも忙しい、あつという間の三時間でした。四十年卒の方々が還暦同期会で遠路参加いただき、有り難うございました。二年後の再会を約束して閉会、二次会は遅くまで楽しみました。

